

令和元年度宮城県計画に関する 事後評価

令和 2 年 7 月

令和 3 年 8 月

令和 4 年 8 月

宮城県

※ 本紙は、計画期間満了の翌年度まで、毎年度追記して国に提出するとともに、公表することに努めるものとする。

事業の区分	IV 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.35】勤務環境改善事業	【総事業費】 110,435 千円
事業の対象となる区域	仙南圏, 仙台圏, 大崎・栗原圏, 石巻・登米・気仙沼圏	
事業の実施主体	宮城県	
事業の期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	今後増加する医療需要に対応するため、勤務環境改善事業を実施し、医師不足、地域や診療科による医師の偏在解消及び看護職員等の確保・養成が必要。 アウトカム指標： 勤務環境改善に関する相談件数：18件（R2）→30件（R3） 看護師数（人口10万対）：867.3人（H30）→963.8人（R3） ※参考（H30 全国平均）：963.8人 医師数（人口10万対）：250.1人（H30）→258.8人（R3） ※参考（H30 全国平均）：258.8人	
事業の内容（当初計画）	<ul style="list-style-type: none"> ・医療業務補助者を配置する医療機関への支援 ・勤務環境改善支援センターの運営 	
アウトプット指標（当初の目標値）	・支援対象となる医療業務補助者の配置：90人	
アウトプット指標（達成値）	・支援対象となる医療業務補助者の配置：95人	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標： 勤務環境改善に関する相談件数：18件（R2）→50件（R3） ※現時点での最新データ 看護師数（人口10万対）：867.3人（H30）→907.6人（R2） ※参考（R2 全国平均）：1,015.4人 医師数（人口10万対）：250.1人（H30）→258.0人（R2） ※参考（R2の全国平均）：269.2人</p> <p>(1) 事業の有効性 本事業により、医師の事務作業が軽減され、専門性を必要とする業務に専念することができた。また、患者と向き合う時間が増えて安全面も向上した。看護師と看護補助者の業務フローを見直し、看護師の業務負担軽減が図られた。</p> <p>(2) 事業の効率性 医師や看護職員がより専門的な業務に集中することができ、</p>	

	且つ、労働時間短縮に繋がる。
その他	